

## 宮城県の歯科口腔保健の現状について

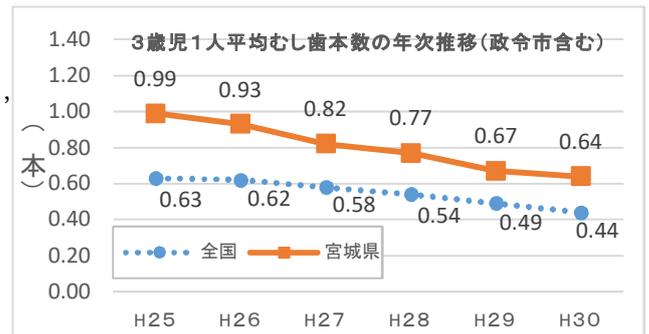
## 妊産婦期・乳幼児期

(概ね5歳まで)

達成指標	第2期現状値	第2期目標値	最新値	全国値	全国順位	基準とする統計調査等
3歳児の一人平均むし歯本数	0.82本 (H27)	0.58本 以下	<b>0.64</b> (H30)	0.44 (H30)	37位	地域保健 健康増進事業報告 (厚生労働省)
3歳児におけるむし歯のない人の割合	77.1% (H27)	90%以上	<b>82.0%</b> (H30)	86.8% (H30)	34位	

○ 3歳児の一人平均むし歯本数は、減少傾向にあるが、全国との差は依然として大きい。

○ 3歳児におけるむし歯のない人の割合は、年々増加しているが、全国値より低い状況にある。



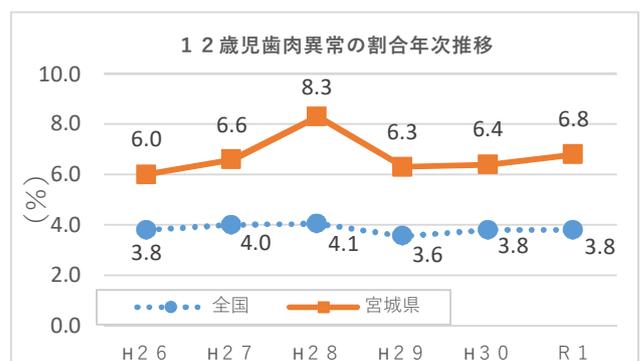
## 学童期・思春期

(概ね6歳～18歳まで)

達成指標	第2期現状値	第2期目標値	最新値	全国値	全国順位	基準とする統計調査等
12歳児の一人平均むし歯本数	1.2本 (H28)	0.8本 以下	<b>1.0本</b> (R1)	0.7本 (R1)	38位	学校保健統計調査 (文部科学省)
12歳児におけるむし歯のない人の割合	57.4% (H28)	65.0%	<b>61.3%</b> (R1)	68.2% (R1)	36位	
12歳児における歯肉に異常のある人の割合	8.3% (H28)	4.1% 以下	<b>6.8%</b> (R1)	3.8% (R1)	45位	
12歳児における要治療・要精検児童生徒の受診率	今後把握	今後設定	<b>39.4%</b> (R1)	—	—	宮城県児童生徒の健康課題統計調査 (宮城県教育委員会)
学校における昼食後の歯みがきの実施率	今後把握	今後設定	<b>63.8%</b> (R1)	—	—	宮城県児童生徒の健康課題統計調査 (宮城県教育委員会)

○ 12歳の一人平均むし歯本数は、減少しているものの、全国値と比べると高い。

○ 歯肉に異常のある人の割合が、全国値と比べて多い状況が続いている。



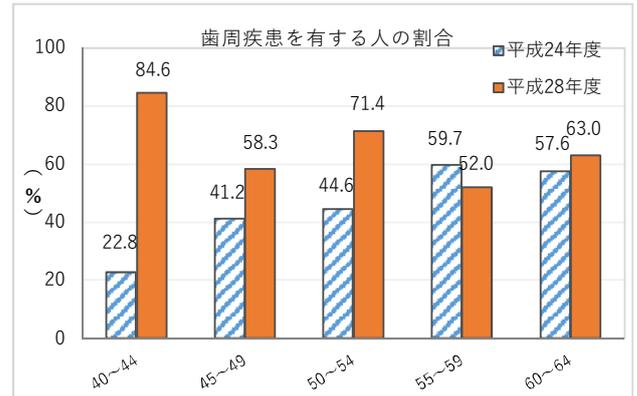
## 壮年期

(概ね40歳～64歳まで)

達成指標	第2期現状値	第2期目標値	最新値	全国値	基準とする統計調査等
進行した歯周病（4mm以上の歯周ポケットを有する人）の人の割合	63.7% (H28)	40%以下	<b>63.7%</b> (H28)	—	宮城県歯と口腔の健康実態調査 ※令和4年度実施予定
60歳で24本以上歯を保持する人の割合	54.3% (H28)	70%以上	<b>54.3%</b> (H28)	—	県民健康・栄養調査 ※令和3年度実施予定

○壮年期については、最新値の更新はない。

○進行した歯周病の割合は、40代、50代の5割以上が歯周疾患を有しており、平成24年度と平成28年度を比較すると特に40代の増加が顕著である。



## 高齢期

(概ね65歳以上)

達成指標	第2期現状値	第2期目標値	最新値	全国値	基準とする統計調査等
進行した歯周病（4mm以上の歯周ポケットを有する人）の人の割合	63.3% (H28)	55%以下	<b>63.3%</b> (H28)	—	宮城県歯と口腔の健康実態調査 ※令和4年度実施予定
80歳で20本以上歯を保持する人の割合	39.8% (H28)	50%以上	<b>39.8%</b> (H28)	—	県民健康・栄養調査 ※令和3年度実施予定

○高齢期については、最新値の更新はない。

○進行した歯周病の割合は、平成24年度と平成28年度を比較すると変化は見られなかった。

